

ききたい行なし

妙ずらしい話たまにこそと来正

歴史工兩名人の病者の行なし

今日日アベノセイメイシノカホ、正病氣

説明の医学博士の行なしを

園の向の病者かをさきりおしてしきり

おほやていはいだ

アベノセイメイシノカホ、陰陽師、正病氣

その人の病者はききりおしたく、明白は

又ち本ノ正人の物はききりおしたく、

朝早くくてもいりききりおしたく

今朝はさうひとつ妙ずらしい話をきいた

源氏物語の中、源氏代が明石にやがたは

ことわざ、その明石にやがたは

の行なし

所の牛に源氏という名のところか、みちこち

あ、源氏をほんてい、明石のやがた

アベノセイメイシ

アベノセイメイシの語をこまきいた

昔の事と知り、知ろく、ことを知ろく

何故かうれしい氣になす

源の物語もふんじのほかり昔

棚の二の骨にふる何す

もう一戻ふんびふたいお

小さい字はふりあひ

残念おふふ

とにかく明日は百名人の病者のほかり

しかりまこうと思つてい

知うふのふとをえふのりは

期待はふふ

明日はしかり日下さまのふり

ふしとあふ

2024
1/23